



台風10号に伴う臨時休業

本当は、明日29日が始業式のはずでしたがご存知のように、台風10号の接近に伴い、市教委の判断で、休校措置が取られました。学校は、子供たちの登校に備え、準備をしていましたが、台風への備えを全職員で行いました。

花を植えているプランターの移動や、箒等の掃除用具、ミニサッカーゴールの移動など、全職員で仕事を割り振って作業をしました。時折、ヒューッと吹く風に、台風が確実に近づいてくることを肌で感じ、心がざわつきました。

ご家庭でも台風への備えを是非よろしくお願ひします。今できることとして、家族など身近な人と避難方法などを話し合っておくこと、排水溝の状況など周囲の危険箇所を調べておくこと、備蓄状況の確認などは、まだ間に合います。昨日私も近くのスーパーに立ち寄りしましたが、まだまだ食料はあるようです。

他にもすぐしておいた方がいい事として、飛びそうな物は室内にしまうことです。物干し竿や鉢植えなどは飛ばされると人に被害を与える凶器になるので、しまっておきましょう。そして、家の中にしまうのが難しい大きな物の場合は、紐等で固定してください。次に窓を守ることです。雨戸を閉めたり、養生テープで補強したりするなど対策をとってください。最後に停電の備えなども考えていた方がいいでしょう。モバイルバッテリーなど、スマホ・携帯などが使えるようにしておくことも大事なことです。

「備えあれば憂いなし」と言いたいところですが、台風の予想進路は、警戒せざるを得ません。台風情報をこまめに見ながら、安全な行動に心掛けましょう!



台風対策の様子

夏休み中の先生たちの勉強

先日26日(月)の研修の時間に、図工の描画指導や鑑賞の在り方について、外部から講師を招いて、全職員で学び合いました。子供たちに絵を教える立場の先生たちが、子供の発達段階に応じた絵を描かせるための支援の在り方や、言葉掛けの仕方など、普段気付かないことを指導していただきました。

また、先生たちも筆を手に、絵を描く体験もしました。このときは、「重色」といって、アクリル絵の具を下地に塗って、その上から水彩絵の具で色付けを行う技法を学び、一人一人が真剣に絵を描いていました。

最後の鑑賞指導の在り方では、名画「バベルの塔」を観て、迫力を感じる謎(大きく描く・影を付ける等)を出し合い、その気付きから子供に迫力ある絵を描かせることに生かすという、目から鱗の鑑賞指導の在り方を学ぶことができました。

暑い夏の日々の研修でしたが、心が潤い、芸術の秋に備えることができた一日となりました。講師の先生も準備から片付けまで本当にありがとうございました。

